

第25回早稲田大学 数学・応用数理談話会

日時：2019年7月11日(木)

16:30-17:30

16:00-16:30 (tea time)

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス
63号館2階05会議室



アクセス：<https://www.waseda.jp/top/access/nishiwaseda-campus>

講演題目：社会の変容と数理科学の進化

(Desired Evolution of Mathematical Sciences in Changing Society)

講演要旨： デジタル革命による社会の変容は、その起動源・推進力の一つである数理科学自身に対しても進化を促している。前世期型の数理科学では乖離的であった「理解のための（理学的）数理科学」と「達成のための（工学的）数理科学」が今や架橋的連携の域を超えて有機的に一体化されつつある。各研究組織・研究者（とくに若手）には得意技を活かしての「二刀流」が期待される。その視点から、自身が経験した60年余の時代のうねりを踏まえて、今世紀型の数理科学の研究戦略を、概念と方法の重視、実証性の階層化（納得の規準）、特に魅力的な研究対象、日本の特性などの視点からお話したい。

講演者：藤田 宏 先生
(東京大学名誉教授)



主催：早稲田大学理工学術院基幹理工学部数学科・応用数理学科
早稲田大学理工学術院総合研究所・重点領域「数理科学研究所」
早稲田大学総合研究機構・流体数学研究所

